

活性化モデル商店街の成功事例

商店街：瀬戸市商店街連合会構成団体組合【銀座通り商店街振興組合、末広町商店街振興組合、中央通商店街振興組合、新瀬戸商店街振興組合、品野商店街振興組合、效範西部商店街振興組合】、
パルティセと店舗会、瀬戸まちづくり株式会社

●キャッチフレーズ

地域・地元優しく、観光客には楽しい！安心・便利な商店街

◎商店街の将来ビジョンの実績

①安心・安全な商店街

- ・アーケード改修及び LED 化、防犯カメラの設置を行い、安心・安全な地域コミュニティの場を形成した。

②商店街の魅力アップ

- ・マーケティング調査及び電子マネー利用実績データの収集・分析結果を各店舗に還元し、商品開発等へ活用した。
- ・商店街の魅力アップのためのセミナーを開催し、商店街や各店舗の魅力向上を図った。
- ・「まちゼミ」を開催し、商店街や各店舗の魅力を発信した。

③地域に密着した商店街

- ・空き店舗を活用した「駄菓子屋」を開設し、地域コミュニティの場、季節イベントの拠点として、商店街の魅力アップを図った。
- ・商店街の強みである「顔の見える関係」を生かし、商店街の中に様々な生活課題に対応する相談窓口を設置した。

④キャッシュレス化で便利で楽しい商店街

- ・電子マネー導入を推進し、利便性の向上を図った。
- ・電子マネー導入店舗でイベントやキャンペーンを開催し、商店街の楽しさを伝え、商店街の回遊を促進した。

①安心・安全な商店街、②商店街の魅力アップ、③地域に密着した商店街、④キャッシュレス化で便利で楽しい商店街を目指し、3か年の間さまざまな取り組みを行った。

その取り組みによって、商店街内の店舗同士、また商店街・各店舗と瀬戸まちづくり株式会社等各団体間の協力関係も強化され、商店街及び各商店の魅力も向上しており、平常時における集客は低調であるが、イベント時には賑わうようになってきている。

また、観光協会が主催するイベントに合わせた催しを企画する商店街や各店舗もあり、自発的に事業執行ができるような環境は整いつつある。

◎事業実績

○地域経済活性化事業（25年度～27年度）

電子マネー推進と回遊促進による商店街魅力UP事業

- ・マーケティング調査及び電子マネーの利用についてデータを収集・分析
- ・店舗への電子マネー機器導入

○地域商店街活性化事業（25年度）（国の基金事業活用）

- ・ 末広商店街活性化事業：空き店舗を活用した「駄菓子屋」を開設し、地域のコミュニティ施設としての役割を促進させた。
- ・ 銀座通り商店街出合い、支えあい、元気になるまちづくり事業：①なんでも相談・支援ひろば事業（商店街内に相談窓口を設置し、困ったときに話を聞いてくれる、相談ができるという安心につなげた。）、②情報発信事業、③元気をキーワードにしたイベント事業を実施

○安心安全まちづくり緊急対策事業（26年度）（国の基金を併用）

末広町商店街アーケード大改修工事、銀座通り商店街アーケード大改修工事

◎事業の効果

- ・ 各実施団体の努力等もあり、視察やマスコミ取材が多かったことから、知名度が向上している。
- ・ 全市的な電子マネー機器導入を目指して各店舗を回り各店主の話を聞いたり、イベントを連携して実施したりと、各団体との協力体制は強化された。



（イベント開催時電子マネー特設ブース）